

技術提案項目抽出の基本的な考え方

1. 耐震技術提案 評価項目 ー 「安全性の高い耐震性能の確保についての提案」

1. 新市庁舎の耐震性について
 新市庁舎整備基本理念にある、「様々な危機に対処できる、危機管理の中心的役割を果たす市庁舎」を受け、大地震発生後も業務継続が可能な高い耐震性能を確保します。

2. 課題項目の抽出

- まれに発生する大地震発生後も、構造体の補修を行うことなく使用でき、人命の安全確保が図れ、災害対策の指揮および情報伝達などの防災拠点として機能維持が図れる計画かつ、きわめてまれに発生する大地震後においても、防災拠点として機能維持と管理修繕コストの低減が図れる計画
 - ・ **確実かつ効率的に事業継続**を行うために、大地震時に建物の揺れを抑制
 - ・ 超高層建物に大きな影響を与える、**長周期地震動による揺れを抑制**
 (サイト波の作成方法が適切であることの確認が必要)
 - ・ 大地震直後から使用できることや**長寿命建築**に対する地震動および風荷重による**損傷、累積疲労程度の把握**
 - ・ 事業継続のために必要な**電気設備、昇降機等機能の合理的かつ確実な保持**
 - ・ 液状化の可能性がある地盤および支持地盤の傾斜による影響を十分に検討した**安全性の高い基礎構造**
- 床の歩行振動(鉛直振動)による揺れを抑制
- 風の水平振動による揺れを抑制
- 津波被害に対し、建物全体の耐力が著しく低下することなく、**防災拠点施設として基幹設備が機能する計画**
- 天井や外装材などの**脱落、落下の恐れがない計画**
- 将来の環境変化へ追従可能な**高いフレキシビリティ**を持ち、**優れた耐震性能と経済性を両立した計画**

※想定地震動に、横浜市地震防災戦略(平成25年4月)による以下の地震を含みます。

- ①建物の揺れについて
 「元禄型関東地震」「東京湾北部地震」「南海トラフ巨大地震」
- ②津波浸水について
 「慶長型地震」

基本的な性能の確保

3. 要求水準で求める内容

- 大地震直後においても、防災拠点施設として確実な機能維持を図るため、「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」による**構造躯体の耐震安全性能はI類※1**を確保
- 人命の安全確保に加え十分な機能確保が図られるものとするため、「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」による天井や外装材などの**非構造部材の耐震安全性能はA類※2**
- 津波浸水に対しては、構造耐力を確保し、**防災関連設備機能を維持**
- 将来の環境変化、設備等の更新に対応した、**フレキシビリティの高い計画**
- 性能確保とコスト縮減をバランスした**構造計画**
- 建設地の地盤形状を考慮した、**安全性の高い構造計画**
- まれに発生する地震及びきわめてまれに発生する地震には、建物直下において**液状化を起こさない対策**
- 長周期地震動**による影響の把握と対策は、国が示す地震動による解析※3を行い、**建物の安全性を確保**
- 床の鉛直振動や風の水平振動に関して、不快に感じない程度の**居住性能を確保**
- 建築計画および設備計画と整合した構造計画**
- 構造部材の損傷評価と維持管理**に配慮した構造計画

※1 災害時に最も重要な拠点となる施設に求められる性能で、大地震後に構造体の補修をすることなく使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて、十分な機能確保が図られるものとする性能

※2 大地震後、災害応急対策活動を円滑に行ううえ、又は危険物の管理のうえで支障となる損傷、移動が発生しないことを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られるものとする性能

※3 超高層建築物の設計において一般的に用いられている「超高層建築物における長周期地震動への対策試案(国土交通省)」に基づいた検討を行う。今後、内容が更新されることが考えられるため、設計着手時において最新版を用いた検討を行う。

具体的かつ独自の高度技術の提案

4. 技術提案で求める内容

- 耐震性能について「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」に示す、耐震ランクI類※1の安全性に加えて、より確実な安全性の確保と業務継続を実現するため、どのような構造形式を選定し、どの程度地震時の建物の揺れや変形を抑制するか
 (地震時の安全性確保、地震後の業務継続に関する総合的な建築計画を所見で求める。採用する構造形式、具体的な耐震性能目標値を定量的項目で求める)
- 地震や強風の繰り返し荷重に対するエネルギー吸収部材やその構成部品等の取り換えなど、構造体の維持管理、ライフサイクルコスト縮減やフレキシビリティ向上の観点からどのような方針で取り組むか
- 建設予定地の地盤特性等をどのように考慮し、構造計画検討やサイト波作成に際して適切かつ安全側の配慮がされているか

実施要領書に表記する内容

5. 具体的評価項目

- 1 地震時の安全性確保、地震後の業務継続に関する提案
 - (1) 在館者の安全確保、業務継続のための総合的な建築計画の考え方
 - (2) 具体的な構造計画概要と構造耐力上の設計目標値
 - ア 各階における構造耐力上主要な部材の塑性化の程度
 - イ 執務室階の床面応答加速度の最大値 (gal)
 - ウ 地上部各階の最大層間変形角の最大値 (rad)
- 2 ライフサイクルを通して、建築物の性能を最適に管理するための構造計画等に関する提案
- 3 建設予定地の地盤特性を考慮した構造計画に関する技術的所見
 - (1) 液状化が懸念される地層に対する基礎等の安全性確保
 - (2) 工学的基盤の傾斜に対する基礎等の安全性確保
 - (3) 長周期成分を考慮したサイト波の作成方針

6. 効果
 企業の持つ高い技術を導入することで、大地震発生後も確実に業務継続が可能な高い耐震性能を確保できる

II. 環境技術提案 評価項目 ー 「効果的で先進的な環境技術についての提案」

1. 新市庁舎の環境性能について

新市庁舎整備基本理念にある、「環境に最大限配慮した低炭素型の市庁舎」を実現すべく、環境技術の中から、先進的かつ有効性のある設備、システムなどの導入による環境負荷の低減、環境性能の確保を高度技術提案として求めます。

2. 課題項目の抽出

高層建築物における室内環境に配慮しつつ、低炭素型の市庁舎を実現するための環境技術の計画

○省エネルギー技術

- ・周辺地域との熱源共用による、効率的な熱源運用
- ・省エネルギー機器の導入のほか、システムとしての創意工夫
- ・ライフサイクルコストを考慮した省エネルギー技術
- ・地域のエネルギー需給の逼迫などに対する、省エネルギー制御
- ・下水再生水の有効利用

○創エネルギー技術

- ・高層建築物であるため、建築物の規模に対して太陽光発電などの設置面積が限られている
- ・メンテナンスコストを考慮した創エネルギー技術
- ・年間を通して確実に性能を発揮するための設備

○設備更新・維持管理

- ・高層建築物であっても、維持管理及び、将来の設備更新が容易となる設備レイアウトや構成
- ・将来のエネルギー単価変動への柔軟な対応

○快適な室内環境の確保

- ・省エネルギーに配慮しつつ、快適な室内環境を確保
- ・塩害地域に立地する高層建築物における換気・空調の工夫

基本的な性能の確保

3. 要求水準で求める内容

- 広く一般に認知、評価されるような環境に最大限配慮した市庁舎とするため、CASBEE Sランク、BELS☆☆☆☆の性能を確保する
- イニシャルコスト、ランニングコスト及び環境性能に優れた機器及びシステムの導入を図るため、具体的な性能、仕様を規定する。
 - ・共用熱源として、エネルギーサービスプロバイダを導入し、横浜アイランドタワーとの熱連携を実施する
 - ・高効率、長寿命、容易な維持管理性、省エネルギー及び快適性に配慮して機器の採用
 - ・LED照明の導入
 - ・下水再生水の採熱、雑用水利用
 - ・長期修繕計画の作成
 - ・施設の供用開始後一箇年の電力、ガス、水道及び熱等のエネルギー使用量の予測値を算出する
 - ・維持管理計画の作成
- 先進的かつ、有効性のある環境技術を導入するため、導入する自然エネルギーなどは、具体的なエネルギー量を規定する
 - ・太陽光発電は100kW以上の発電能力を有することとする
 - ・燃料電池は200kW以上の発電能力を有することとする
- システム及びエネルギーを統合管理し、最適な運用を継続できる設備の導入を規定する
 - ・BEMSを導入する
 - ・デマンドレスポンスなどの省エネルギー制御が可能な設備とする
 - ・維持管理や、更新の容易さを配慮する
- 室内環境の基本的な性能の確保
 - ・外気、日射に影響されやすい外壁や窓付近についても、その他の場所と同等の室内環境を維持できるシステムとする
 - ・空調・照明設備については、きめ細かなゾーニングで制御が可能なシステムとする
 - ・外気取入れダクトなど常時外気に接している部位については、塩害対策を行う

具体的かつ独自の高度技術の提案

4. 技術提案で求める内容

- ライフサイクルコスト及び環境性能に優れたエネルギーサービスプロバイダの導入に向けた取組姿勢
 - 室環境への自然エネルギーの直接利用
 - ・自然エネルギー、外気、外光などを直接利用することにより、省エネルギー化を実現しつつ、快適な室環境が確保できる技術を提案に求める。
 - ・高層建築物の執務空間においても快適な室環境を実現するため、各種センサー技術を用いた空調・照明などの自動制御や予測制御をとり入れたBEMSなどの技術を求める。
 - 総合的な省エネルギー技術
 - ・太陽光発電以外の自然エネルギーの利用による、創エネルギー技術を提案に求め、更に最大限発電性能を発揮するための手法を提案に求める。
 - ・自然エネルギーの有効利用に限らない、多様な省エネルギー技術を提案に求める。
 - ・導入した環境技術によって得られる省エネルギーの具体的な効果を、広く認知されている評価基準であるBEI値を使用して定量的に評価する。
- ※ BEI = 設計一次エネルギー消費量 ÷ 基準一次エネルギー消費量
 基準一次エネルギー：建築物の条件に標準的な外皮・設備仕様とした場合
 設計一次エネルギー：同条件の建築物に、導入する外皮・設備仕様とした場合
 標準仕様の建築物に比して、どれくらい省エネルギーな建築物かを示す指標

実施要領書に表記する内容

5. 具体的評価項目

- エネルギーサービスプロバイダ導入検討に関する技術的所見
 - (1) エネルギーサービスプロバイダ事業者選定に関する業務支援
 - (2) 横浜アイランドタワーとの連携を考慮した課題と対応
 - (3) 基本設計におけるライフサイクルコストや環境性能を考慮した熱源構成などの検討
- 低炭素型の市庁舎と、快適な室内環境の両立に関する提案
 - (1) 室環境への自然エネルギーの有効利用と快適制御
- 創エネルギー、省エネルギー技術に関する提案
 - (1) 低炭素型市庁舎を考慮した創エネルギー技術と最大限性能を発揮するための技術及び省エネルギー技術
 - (2) 創エネルギー・省エネルギー技術の導入による具体的な省エネルギー効果

6. 効果

企業の持つ様々な先進的な技術及びノウハウを導入し、先進的かつ有効な環境性能をもった市庁舎とする。

Ⅲ. 低層部の総合技術提案

評価項目 Ⅲ 「低層部分（1階から3階）における建築・構造・設備の高度技術と建築デザインに関する総合的な提案」

1. 賑わいを創出する低層部

整備理念に謳われている「市民に永く愛され、国際都市横浜にふさわしい、ホスピタリティあふれる市庁舎」を具現化するため、超高層庁舎低層部に求められる多様な要素をどのように構成し、人が集い、横浜の文化の継承と賑わいの創出に貢献していくか、これらの考え方と活用する技術を高度技術提案として求めます。

2. 課題項目の抽出

低層部は、市民の日常的な憩いの場や、公的な行事を含んだイベントの舞台として、新市庁舎のパブリックスペースが横浜市を象徴するようなオープンな賑わいの場所として機能することを期待しています。また、地域の持つ歴史性を尊重し、地域の街並みとの連続性に配慮することが求められます。

○建築計画

- ・屋根付き広場における、市民に親しまれる様々な活動展開による賑わいや祝祭性と、馬車道駅に接続する大空間駅前広場機能の融合
- ・大岡川水辺プロムナードと商業施設による賑わい空間、市民利用機能と屋根付き広場、更に馬車道駅出入口との連続性・回遊性創出
- ・文化の継承と発信を行う開かれた市民広場の実現
- ・旧第一銀行・横浜アイランドタワー低層部デザインとの関係性を考慮した景観形成と重要な視点場からの眺望への配慮（近景）
- ・死角が生じにくい諸室の配置など防犯・安全に配慮したデザイン
- ・木材の積極的な利用
- ・公共の建物としてサインを含む施設の解り易さ、ユニバーサルデザインへの対応

○総合技術

- ・企業技術やノウハウを活かした屋根付き広場の建築・構造、音響・照明、空調換気システム
- ・周辺の自然環境の取り込み、緑化推進による環境共生建築の具現化
- ・低層部固有の風害に対する対策

○維持管理

- ・日常的な清掃・管理やエネルギー消費も含めた維持管理費の低減（とくに大空間となる屋根つき広場）
- ・建物の長寿命化に対する施策

基本的な性能の確保

3. 要求水準で求める内容

低層部に関する要求水準では、基本的に建物が満たす必要がある性能を求めます

○各室諸元

- ・必要諸室及び仕様

○建築計画

- ・市民広場、商業施設、市民利用施設の適切配置
必要諸室の確保
- ・屋根付き広場の設置、面積、天井高さの規定
- ・特徴的で魅力的な開放空間の創出、自然を取り入れ環境や緑化に配慮した屋根付き広場
- ・イベント開催への対応（音響設備、倉庫等）
- ・死角が生じにくい諸室配置など防犯・安全への配慮
- ・サインを含む施設のわかり易さ
- ・ユニバーサルデザインへの対応

○景観計画

- ・歴史的資産、街並みとの連続、環境を活かすデザイン
- ・ひと、自然、街がつながる開かれた市庁舎の表現
- ・広場と大岡川沿いのプロムナード設置
- ・歩行者動線ネットワークの形成
- ・重要な視点場からの眺望への配慮（近景）

○基本性能

- ・耐風圧、水密性、気密性、遮音性の確保

○構造、業務継続・災害対応

- ・賑わい創出と津波避難を兼ねた2階デッキ
- ・建物の耐久性（構造、非構造体、設備）、保全性
- ・設備室の配置

○環境・設備

- ・敷地内緑化推進（敷地面積に対する緑化率10%以上）
- ・木材利用の推進
- ・環境負荷低減性（ガラスの断熱性能、長寿命、資源の循環、廃棄物削減等）

○維持管理のし易さ

- ・長期修繕計画の作成

具体的かつ独自の高度技術の提案

4. 技術提案で求める内容

基本的な性能に加え、低層部において建築・構造・環境・デザインの各技術をどの様に融合し、賑わいを演出するか、具体案で確認します

1. 機能・技術

- 企業技術やノウハウを活かした屋根付き広場の建築・構造、音響・照明、空調システム
- 風、緑、水など敷地固有の条件、ビル風への配慮や自然環境を活かした技術、その他壁面緑化などの環境共生技術の活用と見える化
- 防汚性能に優れた材料・構法や清掃維持管理方法への考慮及び維持管理コスト低減

2. 建築デザイン

【大岡川沿い・低層部全体】

- 大岡川水辺プロムナードと商業施設による賑わい空間、市民利用機能と屋根付き広場、更に馬車道駅出入口との連続性・回遊性創出
- 旧第一銀行・横浜アイランドタワー低層部デザインとの関係を考慮した景観形成
- 都市的スケール感と低層部のヒューマンスケールの調和
- 総合技術の外部（外装デザイン）への表出

【屋根付き広場】

- 祝祭性・親しみがあるおもてなしの場、文化の継承と発信の場として、賑わい拠点に相応しい新しい屋根付き広場の創出
- 多様な市民活動のニーズに対応し、ステージ配置や馬車道駅コンコースとの接続など市民利用機能と融合した屋根付き広場

実施要領書に表記する内容

5. 具体的評価項目

- 1 低層部及び屋根付き広場（アトリウム）のフレキシブルで多様な使い方に対応する構造架構及び環境・設備に関する提案
 - (1) 大空間を形成する屋根付き広場（アトリウム）の構造架構及び外装計画
 - (2) 緑化を含む自然環境の取込みとビル風にも配慮した快適制御技術や音響・照明計画
 - (3) 外壁の防汚・日常清掃対策や維持管理計画とコスト低減
- 2 横浜市の市庁舎にふさわしいデザインに関する提案
 - (1) 本市の基本構想などやデザインコンセプトブックを踏まえた低層部のデザイン計画
 - (2) 屋根付き広場（アトリウム）のフレキシブルで多様な使い方に合わせた空間構成及びデザイン計画

⇒提案により内容を確認、及び参考パースによりイメージを確認

6. 効果

- ・低層部の賑わいを創出する外観・空間を確実かつ効果的に実現し、市民に永く愛される魅力的な市庁舎を創出する。
- ・環境や構造に関する新しい高度技術の積極採用とコスト削減を両立させ、周辺自然環境の要素を建物に取り込みながら、環境負荷の低減を実現する。

IV. 高層部の総合技術提案

評価項目 — 「高層部分における建築・構造・設備の要素と外観デザインの総合的な技術に関する提案」

1. 新市庁舎の超高層ビルとしての外装

新市庁舎の整備理念である、「市民に永く愛され、国際都市横浜にふさわしい、ホスピタリティあふれる市庁舎」「低炭素型市庁舎」「長時間有効に使い続けられる市庁舎」の複数の項目を具現化するための外装の在り方を高度技術提案により求めます。

2. 課題項目の抽出

一般的な超高層ビルの外装は、

1. 求められる耐風圧、気密性、水密性を単体で満足
2. 地震時の層間変位追従性能の確保
3. 外壁の構成要素全体として、完成後のメンテナンス性等を複合的に検討し、確定していく必要があります。

また、高層部は市民が誇れるよう、シンプルで成熟都市にふさわしい品位ある美しいタワーを目指し、環境性能技術を積極的に取り入れ、それらを外観に表し、華美なものや装飾的なもの、権威を表すようなデザインでなく、機能ある形態を求めます。

○基本性能の確保

- ・超高層建築外壁として耐風・耐久・耐候性能を実現する水密・気密・断熱性能などの基本性能の確保
- ・地震時の層間変位追従性能の確保
- ・合理的な昇降機のバンク分け、速度設定

○総合技術

- ・日射による室内温熱・光環境や眺望確保と、外観デザインとの融合を考慮した開口部の計画
- ・建築計画と構造スパンとの整合性の確保
- ・周辺環境に対する配慮

○都市景観の形成

- ・北仲通超高層建築群の群景観を考慮した質が高く存在感のあるデザイン
- ・市庁舎としての品位と美しさの実現

○維持管理

- ・高い防汚性能とともに清掃が容易な外壁材料・構法の工夫による、維持管理費の低減
- ・極力シーリングに頼らない水密性能の確保等、建物の長寿命化に対する工夫

基本的な性能の確保

3. 要求水準で求める内容

高層部に関する要求水準では、基本的に建物が満たす必要がある性能を求めます

○各室諸元

- ・必要諸室及び仕様

○建築計画

- ・外壁のセットバック
- ・平面の基本モジュール寸法3.6m、外壁、構造、設備等と整合した計画
- ・執務スペースの快適性と基準
- ・合理的な昇降機のバンク分け、速度設定
- ・メイン動線・バック動線の明確化

○景観計画

- ・まちなみとの調和、品格ある景観形成
- ・歴史的資産、環境資源を活かすデザイン
- ・高さの規定(150m~170m)、及び圧迫感を軽減するため、分節化、段階的な構成等の工夫
- ・重要な視点場からの眺望への配慮、夜間景観
- ・頂頭部のデザイン配慮

○基本性能

- ・カーテンウォールやPC版の仕上げ、層間変位追従性能
- ・耐風圧、断熱・水密・気密性

○構造、業務継続・災害対応

- ・構造要求水準 耐震安全性能 I類
- ・非構造部材の耐震安全性能 A類
- ・建物の耐久性（構造、非構造体、設備）、保水性

○環境・設備

- ・環境負荷低減性（ガラスの断熱性能、長寿命、資源の循環、廃棄物削減等）
- ・日射制御 手動ブラインド実装

○維持管理のし易さ

- ・長期修繕計画の作成

具体的かつ独自の高度技術の提案

4. 技術提案で求める内容

基本的な性能に加え、建築・構造・環境・デザインが高度に融合した超高層の外壁構成要素構築をどの様を実現するかを確認します

1. 技術

【環境技術】

- 日射負荷抑制、自然採光の新しい取り入れ方の工夫
- 外気取り入れなどによる執務空間への熱環境負荷の低減
- ファサードが与える周辺環境の負荷の低減

【外装基本性能の確保】

- 水密・気密・断熱性能などの基本性能の確保
- カーテンウォールやPC版の地震時の挙動制御

【維持管理】

- 防汚性能に優れた材料・構法や清掃維持管理方法への考慮及び維持管理コスト低減

2. 外観デザイン

- 北仲通超高層建築群の群景観との調和、市庁舎としての品位と美しさの実現
- 建物ボリュームと街並みとの整合性
- 総合技術の外観（外装デザイン）への表出

実施要領書に表記する内容

5. 具体的評価項目

1 超高層建物の外壁構成要素に関する提案

- (1) 日射負荷抑制や自然採光、自然換気の活用など環境技術を取り入れた外壁構成要素
- (2) 防水性、気密性、水密性、耐久性、断熱性を考慮した外壁構成要素
- (3) 外壁の防汚・清掃対策や維持管理計画とコスト低減

2 外壁構成要素が融合した高層部デザインに関する提案

- (1) 横浜市庁舎としての品位と美しさを兼ね備えた質の高い高層部デザイン
- (2) 中景として近接建物との関係及び遠景として北仲通北地区で予定されている超高層建築群を考慮した群景観計画に関する配慮

⇒提案により内容を確認、及び参考パースによりイメージを確認

6. 効果

- ・外装技術とデザイン、構造、設備計画との整合性を確保した新しい技術の積極採用を促し、予算内で効果的に理念を具現化する。
- ・市の姿勢を表出し、知性ある象徴性を形成することで市民に永く愛される市庁舎を実現する。

V. 施工計画、設計・施工体制、地域貢献 評価項目 — 「設計・施工のプロセス、体制と地域経済・文化への貢献等についての提案」

1. 施工計画、設計・施工体制について

市の意見を確実に建物に反映し、要求水準や技術提案の内容を確実に実現させるための事業者の体制、設計・施工時の業務のプロセス、取り組みに対する思いや姿勢などを確認します。

2. 課題項目の抽出

設計・施工一括のメリットを活かし、**確実なコンカレントエンジニアリングにより工期短縮、デザインも含めた品質の確保、コスト削減**の課題を高度に解決する必要があります。その課題解決を実現する体制とプロセスを正確に確認、事業者に確約してもらうことが肝要です。

○工程

- 工程が非常に厳しいため、設計・施工一括のメリットを十分に活かす同時併行作業の推進
- 厳しい工期を必達する確実な施工計画の策定

○設計

- 要求水準及び技術提案による高い品質と質の高いデザインを確実に具現化するに相応しい確固たる体制とプロセス
- ランドスケープなど幅広い専門スタッフで構成される設計体制
- 高い施工技術を適切に設計に反映する体制とプロセスの確保
- 設計初期段階から庁内や議会、都市美対策審議会景観部会等と円滑な協議を行い、意見を正確に確認し、設計に反映する体制・取組姿勢
- 可視化した分かりやすい資料による、庁内や議会、その他部会への丁寧かつ継続的な説明プロセスの確保
- 別途発注工事やシステム整備に対する柔軟な設計業務対応と支援姿勢

○施工

- 設計内容の施工への確実な反映と高品質を確保する体制・取組姿勢
- 計画の特性及び計画地の特徴に合った確実な施工計画
- 環境（低炭素）に配慮した施工計画
- 地域への経済的、文化的貢献
- 別途発注工事やシステム整備に対する柔軟な施工対応と支援姿勢

○コスト管理

- 各部門間での情報共有や共同作業を行なうことによるコストの削減
- 要求水準を担保した上で、確実なコスト管理の実施
- 設計・施工時における、維持管理性を考慮した材料の採用によるコストの削減

基本的な性能の確保

3. 要求水準で求める内容

○工程

- 各種工程の提出
(マスタースケジュール、設計・申請スケジュール、施工スケジュール、生産・調達スケジュール等)

○設計

- 横浜市基準に準拠すること
(設計委託業務共通仕様書・設計委託業務特記仕様書等)
- 各種説明資料の作成
(模型・パース等の可視化した資料による庁内、議会等への説明)
- 各種打合せの開催及び打合せ資料の作成
(模型・パース等の可視化した資料による説明)
- 設計の承諾及び検査
- 要求水準の設計への反映及び確認
- 技術提案の確認

○施工

- 横浜市基準に準拠すること
(建築・電気・設備工事特則仕様書等)
- 工事検査（中間、しゅん工、しゅん工後）
- 別途発注工事やシステム整備に対する柔軟な施工対応

○工事監理

- 横浜市基準に準拠すること
(建築工事監理業務共通仕様書・建築監理業務特記仕様書等)

○コスト管理

- 設計変更に対する増減管理
- 維持管理費を考慮した材料の検討を行うこと。
- 長期修繕計画の提示

具体的かつ独自の高度技術の提案

4. 技術提案等で求める内容

○工程、全体実施計画

- 設計・施工一括方式のメリットを活かし、懸念される課題に配慮した提案
- 工期遵守の為の提案（設計、施工だけでなく生産・調達を含む）
- 別途発注工事やシステム整備に対する柔軟な業務対応

○設計・施工体制、取組姿勢

- 要求水準及び技術提案による高い品質と質の高いデザインを確実に具現化するに相応しい確固たる体制とプロセス
- 高い施工技術を適切に設計に反映する体制とプロセスの確保
- 設計内容の施工への確実な反映と高品質を確保する体制・取組姿勢
- 設計初期段階から庁内や議会、都市美対策審議会景観部会等と円滑な協議を行い、意見を正確に確認し、設計に反映する体制・取組姿勢
- 低炭素化に配慮した施工計画

○地域貢献及び環境配慮

- 地域社会や文化的活動への参加、地域経済の活性化につながる地域貢献
- 定期的な工事広報や現場見学などによる地域とのコミュニケーション促進
- 建設を通して様々な取り組みを共有、市民と一緒に作る取組姿勢
- 周辺地域の清掃や住環境の保全に対する積極的取組
- 周辺地域と現場事務所・作業現場との景観調和の取組

実施要領書に表記する内容

5. 具体的評価項目

- 全体実施計画に関する技術的所見
 - 基本理念及び整備基本方針を踏まえたプロジェクト遂行の為の目標設定と管理
 - 設計・施工各段階の工程計画検討における課題及び遅延防止に向けた取組み
 - 別途発注となる工事の設計工程管理における配慮事項と工事発注及び施工管理支援
- 設計・施工体制及び取組みに関する技術的所見
 - 設計・施工各段階における課題と専門業者を含めた設計・施工体制の考え
 - 市民に永く親しまれる市庁舎とするための設計体制及び取組み
 - 施工段階における低炭素化に関する取組み
- 地域貢献及び環境配慮に関する技術的所見
 - 地域の文化的活動及び地域経済貢献に関する取組み
 - 現場周辺の環境保全や景観配慮に関する取組み
 - 設計・施工各段階における市庁舎プロジェクトの関心向上と建築文化の向上

6. 効果

理念に基づく計画を、設計・施工一括による利点を最大限に活かし、永く市民に愛される市庁舎をより良く具現化できる。